

ア 目標について

同一単元としての目標をかける場合には、その単元の総括的な目標が、両学年に共通する目標とならなければならない。

しかし、主目標が共通であっても、具体的な目標においては、学年や能力の差に応じて低、高の差異が考えなければならない。

イ. 学習内容について

年間指導計画をたてる段階で用意される各単元の学習活動は、単元の目標に照らして予想される主なものについて、そのだいたいの順序を示す程度になる。

ウ. 教材、資料について

同一の単元の教材、資料には、両学年共通に使用するものと、学年や能力の差に応じて使用されるものがあり、計画にはそれが明示される必要がある。なお教材、資料には、教科書の教材、その他の図書、放送等の補充的な教材、資料、教師作成のもの、児童の作品などがあげられる。

エ. 指導上の留意事項

- へき地の言語的条件に対する具体的な配慮（国語）
- 文字、語句、文、文章の組み立て等の事項の系統についての配慮
- 共通の学習場面を作るための配慮
- 協力的な学習活動を行なうための配慮
- 間接指導を効果的にするための配慮
- 日常生活との関連や日常生活への発展についての配慮
- 他教科との関連についての配慮
- 補充教材についての配慮
- 評価の観点やその方法についての配慮

④ 授業案の形式について

ア. 単元名

イ. 目標

- 共通目標 ◦ 低学年目標 ◦ 高学年目標

ウ. 指導計画

⑦ 題目

① 目標

- 共通目標 ◦ 低学年目標 ◦ 高学年目標

⑦ 展開

指導上の留意事項	資料	学習活動		資料	指導上の留意事項
		○年	○年		
		1 導入（共通）			
		2	3		
		4	5		
		6.まとめ（共通）			

⑤ 評価の観点

オ 備考 学級や児童・生徒の実態など

④ 話し合い活動について

① 話し合い学習の効果

② 話し合い学習指導上の留意点

ア. ふだんの学習の中で、聞くこと、話すことの機会を多くする。

イ. 話し合いの基礎指導を徹底する。

ウ. すじ道のたった話し合いができるようにする。

エ. 協力的に話し合えるようにする。

オ 深まりのある話し合いができるようにする。

(5) 自主的に学習にとりくませるには

(6) 家庭学習の基本的な考え方について

(7) 複式学級における視聴覚教材の利用について

(8) シート式磁気録音機の利用について

(9) 学習指導と教材研究について

この講習の内容は、複式担当者の切実なものを内容として取りあげるので非常に好感をもたれた。

2 小規模学校研究協議会

(1) 期日 6月26日、27日

(2) 会場 双葉郡富岡町立富岡第一小、中学校

(3) 趣旨

小規模学校の経営について、とくに学習指導の管理上の問題の研究協議を行ない、管理者としての資質を高め、教育の改善と向上を図ることを目標とする。

(4) 講師

福島大学教育学部教授

堀口 知明

福島県教育庁指導課長

池田 豊

双葉教育事務所長

中村 昌幸

福島県教育庁指導課指導主事

鈴木 栄

福島県教育庁学務課管理主事

目黒 義介

(5) 講演

福島大学教育学部教授

堀口 知明

演題 「小規模学校における望ましい学校経営について」

小規模学校における学校経営について、校長、教頭また分校主任としての望ましいあり方の具体的指導があり、参加者一同に深い感銘をあたえた。

(6) 分科会

◦ 校長部会 「小規模学校の組織と運営を確かなものにするためには、校長としてどのような配慮が必要か」

◦ 教頭部会 「小規模学校における筋の通った教職員の研修組織と実践はどのように進めるのが望ましいか」

◦ 分校主任部会 「分校における望ましい視聴覚教材教具の利用はどのようにすることがよいか」

以上のそれぞれのテーマで現場における諸問題をもちよって、会員一同熱心に討議され成果をあげた。

3 山村教育研究会

(1) 会津地区大会

① 期日 10月23日(水)

② 会場 南会津郡下郷町立南小学校

③ 研究主題 「山村へき地の諸条件を積極的に生かした学習指導はどうすればよいか」

④ 講師 福島県教育庁義務教育課主幹 天野 幸夫 福島県教育庁義務教育課指導主事 鈴木 栄 南会津教育事務所指導主事 林 俊

今出 昭三

大久保春男

⑤ 分科会